

中小企業等におけるDX人材の育成

を支援しています！

現在、社会環境・ビジネス環境の変化に対応すべく、企業・組織を中心に社会全体のDX（デジタルトランスフォーメーション）が進んでいます。これに対応するためには、年代・職種を問わず、働き手一人ひとりがDXに参画し、デジタル技術を活用したプロセスの改善や、デジタルを活用しやすい組織づくりに取り組むことが重要となります。

生産性向上人材育成支援センターでは、生産性向上支援訓練カリキュラムモデルの中から「DX対応コース」を選定し、中小企業・事業主団体等の“DX人材の育成”を支援しています。



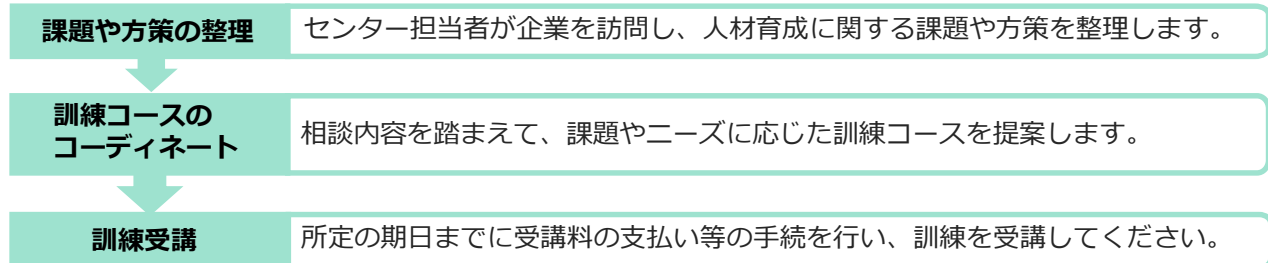
DX対応コースの概要

生産性向上支援訓練カリキュラムモデルの中から、訓練目的・分野による分類とは別に、DX推進に向けたスタートコース、ネットワーク・セキュリティに関するコースを選定し、**共通領域**として設定しました。また、DXに向けた**3つの課題**を設定し、それぞれの課題解決に対応したコースを選定・分類しています。

共通領域	DX推進に向けたスタートコース	<ul style="list-style-type: none">○受講対象者 事業主の指示を受けた在職者の方○訓練日数・時間 おおむね1～5日 (4～30時間)○受講料(1人あたり・税込) 2,200円～6,600円○訓練会場 自社会議室等を訓練会場とすることが可能です(講師を派遣します)
	⇒DXの推進に必要な知識や導入事例を知りたい	
	ネットワーク・セキュリティに関するコース	
⇒社内ネットワークのセキュリティ対策を進めたい		
3つの課題	デジタル化と新しい生活様式の課題への対応	
	⇒自社業務に適切なITツールを選定したい ⇒POSシステムを活用して売上げを伸ばしたい	
	業務プロセスの課題への対応	
	⇒システム化に伴うコストの考え方を知りたい ⇒物流全体の最適化・効率化を実現したい	
	ビジネスモデルの課題への対応	
	⇒IoTによるビジネス環境の変化や動向を知りたい ⇒システム開発に必要な発注者の役割を理解したい	

※DX対応コースの一覧は、裏面をご覧ください。

訓練受講までの流れ



※相談内容によっては、少人数からでも受講できるオープンコースのご利用を提案する場合があります。



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構和歌山支部

和歌山職業能力開発促進センター

ポリテクセンター和歌山

生産性向上人材育成支援センター

～生産性向上人材育成支援センターは、事業主の皆様の生産性向上に向けた人材育成を支援しています～

〒640-8483 和歌山市園部1276番地

TEL : 073-461-1691 FAX : 073-461-2241

URL : <https://www3.jeed.go.jp/wakayama/poly/biz/index.html>

(生産性センター紹介ページへ)



DX対応コース一覧 全61コース (2024年4月現在)

DX推進に向けたスタートコース 4コース

119 DXの推進 117 DXの導入 126 DX人材育成の進め方 129 製造分野におけるDX推進

ネットワーク・セキュリティに関するコース 8コース

021 IoT導入に係る情報セキュリティ 040 eビジネスにおけるリーガルリスク
 057 ネット炎上時のトラブル対応 098 ワイヤレス環境に必要な無線LANセキュリティ
 099 社内ネットワークに役立つ管理手法 115 脅威情報とセキュリティ対策
 116 情報漏えいの原因と対応・対策 125 テレワークに対応したセキュリティ対策

デジタル化と新しい生活様式の課題への対応 19コース

009 POSシステムの活用技術
 056 ITツールを活用した業務改善
 091 企業内でIT活用を推進するために必要な技術理解
 092 企業内でIT活用を推進するために必要なマネジメント
 095 ビッグデータ活用
 055 RPAを活用した業務効率化・コスト削減
 096 RPA活用
 083 テレワークを活用した業務効率化
 088 テレワーク活用
 120 データサイエンス入門
 130 経理業務の効率化につながるDXの実践

業務プロセスの課題への対応 23コース

007 在庫管理システムの導入
 016 物流のIT化
 013 流通システム設計
 014 物流システム設計
 012 卸売業・サービス業の販売戦略
 018 クラウド活用入門
 020 クラウドを活用したシステム導入
 054 クラウドを活用した情報共有能力の拡充
 093 IT新技術による業務改善
 094 AI(人工知能)活用
 090 失敗しない社内システム導入
 087 導入コストを抑えるクラウド会計・モバイルPOSレジ活用

ビジネスモデルの課題への対応 7コース

015 3PLとSCM
 017 SCMの現状と将来展望
 019 IoT活用によるビジネス展開
 089 データ活用で進める業務連携
 118 ベンダーマネジメント力の向上

生産・業務プロセスの改善

横断的課題

売上げ増加

IT業務改善

122 テレワーク業務における労務管理

022 IoTを活用したビジネスモデル
 121 ビジネスとSDGs(持続可能な開発目標)の融合

123 オンライン営業技術

027 マーケティング志向の営業活動の分析と改善
 028 統計データ解析とコンセプトメイキング
 046 インターネットマーケティングの活用
 036 プロモーションとチャネル戦略
 047 チャンスをつかむインターネットビジネス
 029 顧客分析手法
 045 顧客満足度向上のためのCS調査とデータ分析

103 効率よく分析するためのデータ集計
 104 ピボットテーブルを活用したデータ分析
 105 品質管理に役立つグラフ活用
 106 表計算ソフトを活用した統計データ解析
 114 SNSを活用した情報発信
 124 オンラインプレゼンテーション技術

107 表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化
 108 データベースを活用したデータ処理(基本編)
 109 データベースを活用したデータ処理(応用編)
 110 データベースを活用した高度なデータ処理